～宮大生のための海外渡航～

オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

工学部　2年　石津直輝

〇派遣：ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

〇派遣期間：　２０１８年　２月　１３　日　～　２０１８年　３月　１９日

〇渡航時の学年：　**2**年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

春休みという長期間を使って、日本を出て海外で暮らしてみたかった。

・渡航に関する手続について：

パスポートの申請。

航空券は、お金を渡した担当の職員に準備していただきました。

・査証取得：

なし

★体験記：

生活環境が非常に良く、規則正しい生活を 1 ヶ月間続けることが出来ました。ほとんどの学生は授業が終われば体育館に行き、運動していました。

〇生活費：

旅費：180,000 円、 食費：1,000 円、 授業料・ホームステイ等：290,000 円

〇ホームステイ先の環境：

6 人家族で、姉妹 2 人、兄弟 2 人の家族構成です。あと犬 1 匹と自分と違う中国から来た留学生で日々を過ごしました。

基本的に朝食は食パン、昼食は前日の夕食の残ったものから、夕食は大量でした。そのため、自分から食材を買いに行くことはあまりありませんでした。設置の面では、文句の付け所がありませんでした。

〇大学のサポート状況：

全てがスムーズだったので、とても感謝しています。

〇授業の様子：

グループワーク主体で、英語の会話を 1 番とした授業が行われました。

〇他の留学生たちの様子：

自分のクラスでは、韓国、中国、オマーン、タイ、サウジアラビアの留学生と共に勉強しました。皆、日本人より活発的でした。

〇現地学生との交流:
強く、運動やクラブへの入部を勧めてきました。現地学生もかなり活動的でした。

〇街の様子:
家から町または大学に行くには、車かバスが必要でした。バスは基本的に 10 分遅れが当たり前でした。大学周辺の環境はとても住みやすく、初日で慣れました。

〇その他:

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ
運動できる服を持参することです。他国のクラスに人と共にジムなどに行けば、すぐに会話に慣れると思います。
もう一つは英語力です。事前にあまり勉強しなかったので、全ての英語スキルが底辺以下でした。そのため、振り分けられたクラスもランク的に下の方でした。しかし、根性で這い上がり、英語の勉強を自主的に 1 ヶ月間継続できた。